

平成19年度における随意契約見直し計画のフォローアップ

平成20年7月

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構

1. 随意契約見直し計画と平成19年度に締結した契約の状況

(単位：件、百万円)

	平成18年度		平成19年度		比較増△減		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(16.0%) 424	(24.3%) 4,423	(34.4%) 898	(30.0%) 6,252	(118.8%) 474	(41.3%) 1,829	(70.3%) 1,864	(52.5%) 9,573
企画競争・公募	(11.5%) 304	(38.3%) 6,991	(15.5%) 406	(36.5%) 7,602	(33.6%) 102	(8.7%) 611	(13.2%) 349	(39.5%) 7,209
競争性のある 契約 (小計)	(27.5%) 728	(62.6%) 11,413	(49.9%) 1,304	(66.5%) 13,853	(79.1%) 576	(21.4%) 2,440	(83.5%) 2,213	(92.0%) 16,782
競争性のない 随意契約	(72.5%) 1,922	(37.4%) 6,822	(50.1%) 1,307	(33.5%) 6,982	(△32.0%) △615	(2.3%) 160	(16.5%) 437	(8.0%) 1,453
合 計	(100.0%) 2,650	(100.0%) 18,235	(100.0%) 2,611	(100.0%) 20,835	(△1.5%) △39	(14.3%) 2,600	(100.0%) 2,650	(100.0%) 18,235

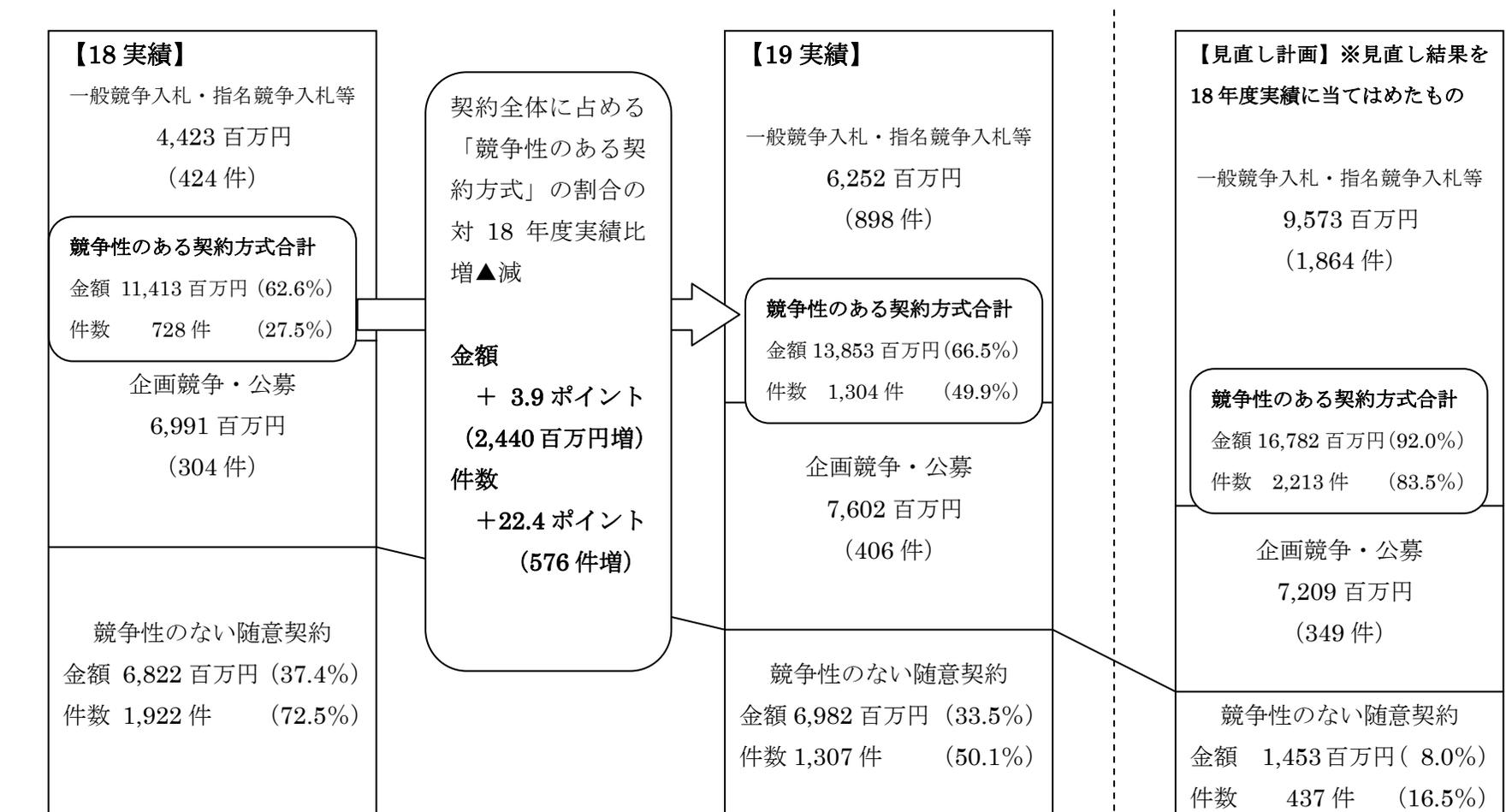
(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増△減の()書きは、平成19年度の対前年度伸率である。

(注3) 見直し計画策定時と、19年度契約フォローアップ時とは調査の定義が異なっている。具体的には、不落・不調の随意契約は、18年度は「競争性のない随意契約」に、19年度は「競争入札等」に整理している。

(注4) 18年度限りで事務・事業を取り止めた随意契約 551件、2,225百万円については、見直し計画においては「競争入札等」に計上している。

図表 随意契約見直し計画と平成 19 年度に締結した契約の状況



2. 平成19年度において、随意契約から一般競争入札等、企画競争、公募に移行した主な契約

① 一般競争入札へ移行

(ア) 農林研究6号団地研究実験施設等電気・機械設備運転保守監理業務の請負契約	104百万円
(イ) 三次元振動装置点検整備業務の請負契約	16百万円
(ウ) 動物衛生高度研究施設オートクレーブ点検業務の請負契約	10百万円
(エ) 中央監視装置(機械設備)保守点検業務の請負契約	4百万円

② 公募へ移行

(ア) 高分解能質量分析計保守業務の請負契約	5百万円
(イ) ガスクロマトグラフ質量分析計外2点保守点検業務の請負契約	5百万円
(ウ) 高周波プラズマ質量分析装置外1点保守点検業務の請負契約	4百万円
(エ) 総合気象観測装置保守業務の請負契約	2百万円

3. 契約形態別応札者数(平成19年度)

契約形態 応札者数	一般競争入札		指名競争入札		企画競争		公募	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
2者以上	404	48%	0	0%	385	98%	0	0%
1者以下	434	52%	0	0%	9	2%	12	100%
合計	838	100%	0	0%	394	100%	12	100%

(注) 不落・不調の随意契約については本表に含まれないため、1の表の「競争入札等」及び「企画競争・公募」の件数と一致しない。